

♪11月の定例会の報告をいたします。

11月定例会の報告をします。「これが知りたかった旅」というテーマで、日奈久温泉に行ってきました。前日からの雨が午前中まで続きましたが、無事11月19日(土)から20日(日)にかけて元JTBの堀野一成さんの案内で実施することが出来ました。参加者は19名でした。

14時40分博多駅新幹線中央改札前に集合し、15時9分新幹線さくらに乗り、16時には新八代に着きました。その後、マイクロバスで日奈久温泉「金波楼」(資料1参照)に到着しました。5つの部屋へ分かれ、それぞれゆっくり温泉に入り部屋でくつろぐ方、散策やお買い物をする方と宴会までの時間を楽しみました。国登録有形文化財に指定されている木造三階建ての建造物は、外観も建物の中も歴史を感じる佇まいで、磨き上げられた木の廊下や手すりに驚きと共に感動しました。大広間(八十畳)の欄間は、松竹梅をそのまま取り付けた趣のある意匠が施され、床の間は昔金波楼の釜で焼いた陶器が使われていました。

夕刻になり遅れて参加の方も到着し、予定通り全員で大広間の宴の席に着くことができました。会話も弾み盛り上がった頃、恒例の一分スピーチで、夫々今回の旅へ参加した気持ちを話しました。旅の世話人堀野さんから、次の日観光する五家荘(ごかのしょう)の左座家(ぞうだけ)と太宰府天満宮に、事前に調べると興味深い関係があったとの話があり、明日への楽しみが膨らみました。それから18号室に集まり二次会となり、笑いの耐えない夜を満喫しました。

翌日は晴天に恵まれ、それぞれ早朝散策や朝市を楽しみました。その朝市でみかんを一箱購入してくださった方からの気配りのデザートを美味しくいただき、9時30分、金波楼のご主人の見送りの中、マイクロバスで「五家荘」(資料2参照)観光へ出発しました。今年は紅葉が例年より進んでいないということでしたが、途中紅葉の中を流れる「せんだん轟」(五家荘では滝のことを轟[とどろ]と言う)を車中から見ることが出来ました。「左座荘(ぞうだそう)」で昼食をし、「左座家」を見学しました。昨夜聞いていた大宰府との縁を感じる梅の欄間が残っていました。左座家のお庭で集合写真を撮った後、道の駅「子守唄の里五木」で家族へのお土産を手にし、予定になかった立神神社にかかる吊橋を恐々渡り、帰路に着きました。以下、参加者の感想(要約)です。皆さんの「知りたかったこと」が綴られています。

◎二日間、残りの人生も楽しく出来ますようにと皆様の笑顔を見ながら思った旅でした。心身共にリフレッシュ出来、素晴らしい友に出会えた事にひたすら感謝いたします。

◎九州新幹線に初乗車し、八代まで約1時間。アツという間に到着。金波楼は歴史のある古き良き温泉宿でした。翌日の五家荘は、平家の里で九州の秘境と紅葉が見事で楽しい研修旅行でした。良かったのは、宴会をはじめ懇親を深められ終日なごやかな旅程でした。ただ、研修行事を何か1つ位スケジュールに入れたらよかったです。

◎今回の定例会は、勉強が全く抜きの旅で、少しさびしい(!?)気もしましたが、日奈久温泉にゆっくり入り、おいしい郷土料理を食べ、翌日は歴史の旅、初めて行く場所でドキドキしました。ドライブには行くものの、ここは行く機会がない所だったので楽しかったです。

◎ご一緒して下さった皆様の笑顔も元気の素です。二日目のバスも上手な運転で楽しくすごせました。ただエンドレスの音楽は、八代のイメージが強く残り、歌も自然に口ずさめて困っています。

◎二日間天気にも恵まれ、初めての参加でしたが、楽しい方々と思い出に残る旅でした。

◎ゆっくりの温泉。楽しい宴会。なお楽しい二次会。なおなお楽しい三次会。朝風呂。豪華な朝食。今年初めての紅葉。手作りの昼食。家族へのお土産をカバンに詰めて帰りの新幹線でのおしゃべり。一人ではない仲間といることの喜びを感じた旅でした。

◎11/19 集合、雨イヤダナー、日奈久につくと天気は落ち着き、気分も晴れに近い。子ども時代の金波楼での思い出を含め、楽しい旅行でした。宴席のコンパニオンは作業療法士の卵で3月に試験とのこと、ガンバレとエールを送る。11/20 天気よし。山の中のバス旅行、久しぶりに楽しみました。旅行と忘年会しか参加していません。アビスバ!!

◎オフロが最高で、肩こりが緩和された様でした。二日目の紅葉が素晴らしい。五家荘の歴史の話で、菅原道真と平家の件は興味深かったです。

◎長崎以来久しぶりに出席させて頂きました。レトロな金波楼に感激し、温泉につかり普段のストレスがすっかり取れました。ついつい買い物をし過ぎ、男性に荷物まで持たせてご迷惑をかけました。反省！！

◎「これが知りたかった旅」の名の通り、金波楼の歴史を知ることが出来ました。熊本最古の温泉、竹輪のおいしさ等経験が出来て楽しかったです。「五家荘」は初めてでしたが、山々と景色に秋を感じることができて心が豊かになりました。

◎とてもいいお湯でした。個人ではなかなか行く事もない山の中、紅葉も美しかったです。つり橋は最高でした。

◎楽しかったです。女性の酒の強さとバイイングパワーは驚きです。

◎金波楼の古風な建物にびっくり、さらに創業 101 年、歴史のすごさ、温泉に感動、味に感動、人に感動した 2 日間でした。

◎今年の秋は暑い日が続き紅葉はだめだと聞いていましたが、やはり高地のためか美しい紅葉を見ることが出来て良かったです。皆さんと仲良く旅行できました事が一番でした。

◎前から行きたかった日奈久温泉と五家荘で楽しみにしていました。金波楼の昔ながらのすばらしい建築に感激しました。又、五家荘に向かう途中の紅葉もすばらしく、心に残る景色でした。

◎とても楽しい 2 日間でした。歴史の勉強になりました。1 日目の宿泊へは早めだったので、ゆっくりできました。

◎九州新幹線に始まり、五家荘へと。又、途中金波楼への宿泊。私にとっては、初物体験のオンパレードでした。食事毎回満腹、朝昼晩三食完食、帰ってからの生活が恐ろしい。皆さまに感謝。

◎五家荘はパワースポットだと思います。数名の旅もよし、また今回の 20 名程の旅もまた格別な旅でした。人とのつながり、自然とのつながりを感じた旅でした。日奈久温泉では珍しい神様たち、眼の神様、歯の神様、手足の神様達に出会えました。二日目の朝、探してお参りもできました。

(資料 1) 金波楼 (熊本県 日奈久温泉)

今から 600 年ほど前 1409 年 (応永 16 年) に発見された熊本県最古の温泉であり、湯治場として栄えてきた日奈久温泉とともに歩んできた木造三階建ての宿。金波楼の名前は、見晴らしの良い三階から、八代海に沈む夕日に映えた金色の波が展望できたことに由来している。

(資料 2) 五家荘 (熊本県八代市泉)

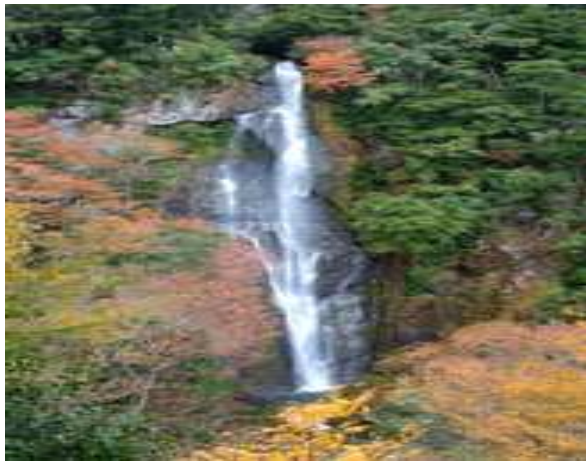
1,300~1,700m級の九州山地の奥深い位置に点在する五家荘は八代市泉町 (旧：泉村) の中の旧村であった椎原 (しいばる)、仁田尾 (にたお)、樅木 (もみき)、葉木 (はぎ)、久連子 (くれこ) の 5 つの集落の総称であり、五家荘という地名では地図に載っていない。「肥薩国誌」によると、平安時代に藤原氏によって太宰府に流された菅原道真の子孫・左座家が藤原の追討を避けてこの地に入り、仁田尾・樅の木に、また壇ノ浦に破れた平清経の孫 3 人も逃れ来て緒方姓を名乗り、それぞれ久連子・椎原・葉木に隠れ住んだと伝えており、以来この五つの集落を「五家荘」と呼んでいる。



金波楼



大広間松竹梅の欄間



せんだん轟



地頭・左座家の屋敷



五家荘での参加者全員集合写真